



発行
浮田地区コミュニティ会議
電話&FAX
0198-42-1681

タイトル画説明

羊の柵まわりに植えてきた実のなる樹木。秋に色づく木の実たち。上から武市バラの実、ナツハゼの実、秋に花も咲くガマズミ。仲間入り予定のツノハシバミの果苞と実。
絵・文(実)



祭時大橋と秋の須川

10月22日、自然観察と健康づくりの役立てようと須川岳と祭時(まつるべ)へ行ってきました。山には前日雪が降って、どこまでいけるかハラハラドキドキもしましたが、須川岳は眩しいほどの晴天で私たちを迎えてくれました。一行は硫黄の湯けむり、漂う足湯の脇を通りぬけ、おいらんコースの展望台まで散策すると、黄色に輝く名残ヶ原を下に眺めながら「おにぎり感が格別においしく感じるわ」と、お弁当やおやつで腹にエネルギーを補充しました。遺構の落橋や震災の断層を間近に見て、「震災の時にここに居たらひどいことになりなかつた」と防災意識も高めた。参加者たちでし(多)

防災イベント開催

11月6日、例年実施の避難訓練及び交通安全パレードを役員等関係者、総勢36名参加で実施しました。最初に第二ホール(講堂)で開会式後、調理室付近から出火の想定で、屋外への避難訓練を実施。

訓練後第二ホールで、今回初のハイゼックス炊飯袋(専用ポリ袋)を使用し、中へ一合の洗米と水を入れて口を縛り、ドラム缶で作った薪釜で沸騰させたお湯に投入して茹で上げるという炊き出し訓練を体験しました。



また、軽トラックの他に先導車・消防車両・ミニパト等を車列隊としたパレードを浮田中内毒沢の順に

巡り、交通安全を呼びかけました。



ハイゼックス米が茹で上がる間に旧浮田保育園庭で、実際に火を使つての初期消火訓練を各地域代表者に体験して頂きました。

閉会行事では、今回の訓練を振り返り、東和分署副分署長から「消火器使用時は、炎に向けるのではなく、火元へ向けて火を消す」と指導を頂き、中内駐在所長からは「最近東和町内では、重大事故が発生していますので、運転の際は脇見運転しない様に」と注意喚起がありました。

終了後は熱々のハイゼックス米を各自持ち帰って試食していただきました。(千葉会長)

対談
風の人・土の人・山の人

この浮田地区に移り住んでいらっしゃる方々にお集り頂き座談会を開催しました。それぞれが不安と希望を胸に暮らす中で、本音が聞ければ、またこれを機会に交友が広がれば、と思います。

進行

- 肥田 葉子さん (上浮田)
- 大上 あゆみさん (中内)
- 高野 菜美子さん (上浮田)
- 渡辺 弘幸さん・郁美さんご夫妻 (中内)
- 山本 実紀さん (毒沢)
- 佐々木 哲哉さん (上浮田)
- (以下/敬称略)

●肥田



今回の座談会をきっかけに、新しく来た人同士や地域とが、もつと繋がり合えたらと思っておりますので、まずはざっくばらんに、皆さん

が浮田地区に住まいして感じたことや、ご自身の今後の抱負などをお聞かせください。



ここは空気がきれいですね。頂いた天然なめこや林檎など、食べ物が美味しくて。春の桜や秋の紅葉を近所で楽しめる所も魅力です。



私は以前からドライブがてら浮田を通りかかって「ここは良い所だなあ」と思っていたので。家も畑も広くて。主人の念願が叶って、裏の畑で野菜作りを始めています。小玉スイカが上手に出来たのが嬉しかったですし、他にはジャガイモ・きゅうり・トマト・オクラ。これからの季節は大根や白菜を鍋にして食べるのが楽

しみ。いつか、薪ストーブをやるのも夢です。



自伐型林業を生業として里山で働く暮らしが出来ればと思っております。山付き畑付きのログハウス風の家とご縁があつて。今の生活費は市街地で暮らした時の半分で済んでます。不便は感じませんね。

○郁美 北上駅前のマンションでの生活は便利でしたが私たちには合わなかったんです。IHが苦手でカセットコンロ生活を1年間位続けていました(笑)。



私は自分で羊を飼うことをきっかけに今の家へ。羊飼って言うことやっぱり10頭とか20頭以上でしょ、っていう考えがあるので(笑)。羊2頭と暮らしています。会社務めしていた時に、羊の毛を商品化する企画の仕事をしていました。今もその仕事をしています。

○佐々木 私、今、履いてます。山本さんの靴下。

●肥田 私も欲しい。いいですね。

○山本 自分が出ることややって成り立つ小さな暮らしを、と思つていたので。

○弘幸 いいなあ。

●肥田 素晴らしい！皆が行きつきたい暮らし方なんじゃないかな。

○山本 細々と、ですよ。

東和町は景色が良いし、ここは本当に空が広くて。それが気持ち良くて。

○佐々木



僕は岩手が好きで、盛岡中津川では街中で鮭が産卵している姿が見られる所なんかも好きで。また東和町は農業や芸術面など面白いことをやっている人が多い。僕はこの辺ではあまり作られてない蓮根作りを始めて5年なんです。今日も秋じまいに追われていました。田んぼもやっていますが少しなので、実紀さんみたいに田んぼと暮らしてます。つてこれからは言おうかな。

●肥田 販路とかもご自身

で考えてなさってるんですか。

○佐々木 はい。自分で探して販売して。飲食店とかイベントとか自然食品店などに置かせてもらってます。

●肥田 さてそれでは次に、この地区への希望とか、心配されてる事とかありますか。

○大上 地域に子どもが増えて子ども会が盛り上がるとうれしいです。

○佐々木 たしかに。自分が子供の時と比べると、歩いて遊びに行ける距離に同級生がいなのがちょっと。スクールバスなので、学校帰りに寄り道も出来ないし(笑)。

○大上 バスといえば、数年前までは走っていたらしいけれど。今は車を持たないところにも行けないので。もつと気軽に呼べるタクシーやバスがあれば皆がもつと集まれるようになると思うんですが…。

○郁美



私は子育てについて。子どもが病気になった時など、

主人は勤務なので、一人で抱え込んでしまいがちになって。そんな時に近所の子育ての先輩や保健師さんに話を聞いてもらえると不安や孤独感が解消されると思う。市がやっている保健師さんの訪問も産後だけでなく、もう少し子供が大きくなるまでやって欲しい。

●肥田 お電話くだされば、いつでもお話を聞きますよ。でも自分からは中々言いにくいものだから、そういう環境や仕組みを整えれば良いですよ。

○山本 私は、山に葛や藤づるがどんどん伸びて広がっているの、「ここはどうなっちゃうんだらう」って心配な場所が沢山あって。「自分に出来ることは何だろうか」って思っています。

○弘幸 そうやって山に光が入らなくなれば荒れていき、木が成長しなくなる。絡まったつるに引っ張られて木が倒れたり、災害に繋がることもある…。

●肥田 どうして山がそういう状態になっているんでしょう。

○佐々木 材としても安いし、薪を使う生活が減ってきていることも影響してるかも。

○山本 浮田コミュニティは、煙突のある村づくり事業とか、煙突倶楽部の活動があったりして。薪をしようという動きがある地域なので、楽しみだなあと思っています。

○佐々木 旅行していた時に「癒や空気がきれいだなあ」と感じてた東和町に実際に住んでみると、山の管理や耕作継承者のことなど課題があることも分かってきて、本当に考えていかないと…。

●肥田 本当にここは空気も食べ物も美味しくて、「田舎暮らしは楽しいよ」というのを見せていけたらいいなと思っています。一方では、佐々木さんや皆さんがおっしゃる課題もあるという…。人が暮らしている事での自然であったり風景がある、ということですね。

持続する地域でありたいものです。今後は色んな人を巻き込んで話し合いを持ちたいですね。

(一部割愛致しました)

●本日(一部割愛致しました)の田舎暮らしを楽しんでいらっしやる様子がうかがわれました。皆さん、本当に有難うございました。

太極拳教室 開催

11月に4回、浮田振興センターで太極拳教室が10名の参加で開かれました。花巻市在住の高橋セイ子氏を講師にお迎えし、日頃から頑張っている身体をいたわりながら、ゆっくりと穏やかにほぐしました。



「動きが激しくなくないので、関節に負担がなく楽しく動けた」「体が軽くなつた」「皆と合うのが楽しい」という声が聞かれました。講師からは、「窓から見える浮田の景色が心を落ち着かせ、太極拳によく合う。皆さんの雰囲気もよく私も楽しみながら行えました」家庭でもゆったりと太極拳をお楽しみください。(美)

ダイヤとルビー

私達は結婚していつの間にか結婚式を目前にする年になりました。私は、結婚した時に男の子が生まれたらダイヤ、女の子が生まれたらルビーと名前を付けようという夢を持っていました。そして、長男にはダイヤという名前を付けました。子どもも巣立った頃に犬を飼うことになり、犬の名前を「ルビー」と命名し、私の夢はこの時叶いました。それからというものは、農作業の時も旅行も一緒。ルビーを中心に会話が弾み、家の中はいつも笑い声。夜も蒲団に入れての腕枕。そんなルビーも寄る年波と共に次第に弱り、ついにルビーは息を引き取り、家族3人はしばらく悲しみを噛みしめながらの切ない別れを体験しました。沢山の思い出をもらった、それはそれは楽しい十五年でした。(石持 佐藤 俊一)

ゆるゆると

ツノハシバミは樹木図鑑で見たことはあった。実を包んでいる苞の形がおもしろいな…と思っはいた。が、この秋、初めて枝についているツノハシバミの果苞を見て、想像していた以上の大きさ、ピロッドのような光沢のある刺毛の風合い、長くくちばしみたいな独特の形にびっくりしつつ楽しい心持ちになった。

おいしい木の实ハシバミは実から育てた苗を草地の柵まわりに植えてきた。その実が今年は何の手いっばいに収穫。一方、昨秋バケツに何杯も拾えた鬼胡桃は今年20個ほど。胡桃の樹の根元で見つけたリスが食べたあとの殻も少なかった。

ツノハシバミもカントリーヘッジに仲間入りさせたい。きつとりリスも喜ぶ。刺毛のちくちくする果苞から実を取り出し、苗作りの準備。リスと出会える機会の増えることを希いつつ。(山本 実紀)

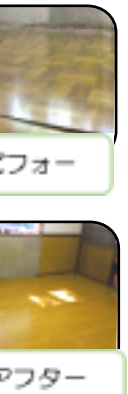
作って味わおう!! フルーツピザ 教室



10月19日、浮田振興センターにおいで、福祉生

はじめの トールペイント 教室

○また、自主防災組織活動に

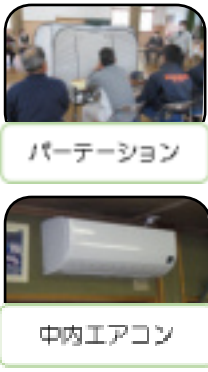


○地域のサロン整備支援とし

事務局遊だ報よ

10月26日、花巻市生涯学

○近年、各地で獣害が確認



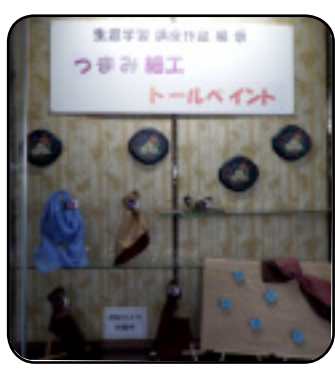
パーティションを各2張り

足跡の違い イノシシ シカ

きて、田瀬の白土ではイノ

り

先生のお懇切丁寧な手ほど



「自分にも出たい!」

編集委員長 平野 秀明 (上浮田)

編 集 後 記

9月のある晴れた日、ア